

施策番号	2004		
施策名	地下鉄の魅力向上とまちづくりへのさらなる活用		
概要	地下鉄を市民生活やまちづくりに積極的に活用するため、市バスをはじめとした他の公共交通機関とのネットワークの強化、駅ナカビジネスの充実など、その魅力を高め、公共交通優先の社会への転換と沿線地域の活性化を推進する。		
担当局・部室	交通局・企画総務部	共管局・部室	
上位政策	20 歩くまち		
施策に関する主な分野別計画等	京都市交通局市バス・地下鉄事業経営ビジョン		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名	平成30年度	令和元年度	令和2年度評価					
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウエイト
1 地下鉄の旅客数（千人）	-	-	397	400	399	100.3%	b	1.00
2 -	-	-	-	-	-	-	-	-
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-
客観指標総合評価	a	a					b	

2 市民生活実感評価

設問	平成30年度	令和元年度							令和2年度※
		評価	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	有効回答者数	
1 地下鉄、市バスは、市民生活に役立っている。	a	a	289	281	67	33	43	713	-
			40.5%	39.4%	9.4%	4.6%	6.0%		
2 -	-	-							-
3 -	-	-							-
4 -	-	-							-
5 -	-	-							-
市民生活実感調査総合評価	a	a							-

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により調査を一時休止しています。

<総合評価>

平成30	A	令和元	A	令和2	B	施策の目的がかなり達成されている
重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	本市のまちづくりをはじめ、あらゆる政策を総動員して実現を目指す地下鉄の増客は、将来にわたる高速鉄道事業の安定的運営に向けた健全化策の最大の柱であり、客観指標による評価を重視する。				
	<input type="checkbox"/> 市民の実感					

<原因分析>

客観指標総合評価

b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。
 c評価以下であり、次の原因が考えられる。

市民生活実感調査総合評価

b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。
 c評価以下であり、次の原因が考えられる。

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業> (令和元年度又は令和2年度新規事業)

	事業名	事業費の状況(千円)		令和2年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		令和元年度 決算額	令和2年度 予算額		
1					
2					
3					
4					
5					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- ・新型コロナウイルス感染症の影響によりお客様数が大幅に減少し、地下鉄・市バス事業の経営はかつてないほど危機的な状況に直面している。
- ・お客様に安全・安心に御利用いただける環境を整えるため、引き続き、御利用の皆様への御理解と御協力をいただきながら、感染拡大防止を徹底する。
- ・また、新型コロナウイルス感染症の影響などによる社会情勢の変化を踏まえた的確な経営判断の下、市民の足をしっかりと確保していく。

施策名	2004	地下鉄の魅力向上とまちづくりへのさらなる活用
-----	------	------------------------

指標名	地下鉄の旅客数（千人）
-----	-------------

担当課	営業推進室	連絡先	863-5094
-----	-------	-----	----------

1 指標の説明

地下鉄の1日当たりの旅客数

2 指標の意味

京都市交通局市バス・地下鉄事業経営ビジョンにおける収支計画の達成状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：旅客収入から算出した1日平均旅客数
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	平成30年度	令和元年度		数値	根拠	達成度
数値	397	400	3千人増	399	京都市交通局市バス・地下鉄事業経営ビジョンにおける収支計画の令和元年度旅客数	100.3%

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値	-	412千人	令和10年	97.1%	京都市交通局市バス・地下鉄事業経営ビジョンにおける収支計画の旅客数

備考
京都市高速鉄道事業経営健全化計画が終了し、交通局市バス・地下鉄事業経営ビジョンにおいて新たに目標を設定している。

5 評価基準

1日当たりの旅客数が
a：402千人以上
b：400千人以上401千人以下
c：399千人
d：397千人以上398千人以下
e：396千人以下

6 基準説明

京都市交通局市バス・地下鉄事業経営ビジョンにおける収支計画（下表）の各年度旅客数について、達成をcとし、2千人の増減の範囲をbまたはd、それらを上回る（下回る）増減をa（e）とした。

R1	R2	R3	R4	R5
399千人	401千人	403千人	405千人	407千人

7 評価結果

平成30	令和元	令和2
-	-	b